

「見守る」と「見守られる」をつなぎます

～介護者記録用Webアプリ「みまもメイト」の開発と評価～

どんな研究

うつ病の早期改善には、良好な家庭環境が重要です。そのためには、家族介護者がうつ病患者の言動に上手く対処できる必要があります。本研究では、**家族介護者の介護活動を支援する**記録用アプリを開発し、2週間のホームユースを通して、その有効性を確認しました。

どこが凄い

情報分野におけるヘルスケアに関する研究の大半は患者の治療や介護を効果的に行う方法に焦点を当て、家庭内環境の改善を目指したものは殆ど存在しません。本研究は、家族介護者に働きかけることによって**家庭内環境の改善を実現**しました。

目指す未来

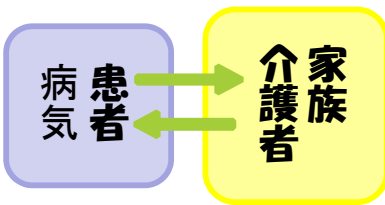
家族介護者がうつ病患者との適切な接し方を見出すことにより、家族介護者とうつ病患者の人間関係が改善し、家庭内環境が良くなります。これは、**うつ病患者の症状緩和**にもつながります。社会的な波及効果としては、自殺率の低下や生産活動の拡大が期待されます。

・家族介護者が、全ての項目を記入

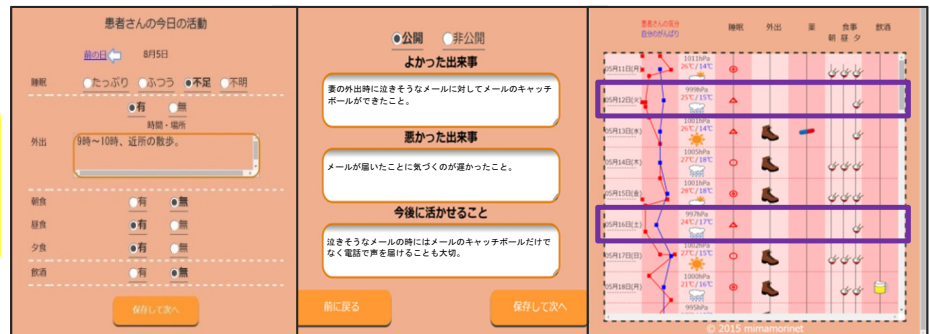
■ みまもメイトの開発

「みまもメイト」の記録エリアと振り返りエリア

BEFORE



家族介護者は、病気や薬に起因する患者の想定外の言動に困惑しどう対応してよいかわからない



「患者の気分・言動」の記録

「介護活動」の記録

振り返りを促進

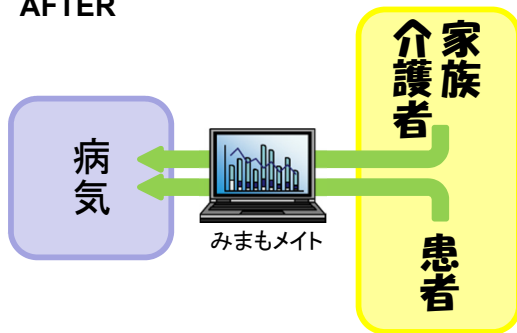
・選択回答方式

・負の内容に偏らない工夫

・1つのグラフに全て表示

■ ホームユース調査

AFTER



みまもメイトの記録が家族介護者と患者のコミュニケーションのきっかけとなり家族介護者と患者が一丸となって病気と闘う構図へと変化した

参加者（家族介護者）：

- ・ 家族のうつ病患者を介護している成人14名
  - ・ 女性11名、男性3名、平均年齢43歳
  - ・ 専業主婦6名、フルタイム雇用6名、自営業2名
- 患者の病状：
- ・ 発症時期は平均8年前、8名が再発を経験
  - ・ 全員が抗鬱剤を服用、定期的を受診

効果 1：効果的な対応方法の発見

- ・ 患者に対する注意力の向上
- ・ 患者の言動に対する理解
- ・ 介護活動の患者への影響

効果 2：患者との人間関係の改善

- ・ 患者に対する視点の変化
- ・ 患者に寛容になること
- ・ 気遣いのある声掛けの増加

【関連文献】

- [1] N. Yamashita, H. Kuzuoka, K. Hirata, T. Kudo, "Understanding the conflicting demands of caregivers caring for depressed family members," in *Proc. ACM Conference on Human Factors in Computing Systems (CHI'13)*, pp. 2637-2646, 2013.
- [2] 山下直美, 葛岡英明, 平田圭二, 工藤喬, 荒牧英治, 服部一樹, "みまもメイト：家族介護者のための介護記録用Webアプリの開発とその効果," *インタラクション2016*, ベストペーパー受賞.

【連絡先】

山下直美 (Naomi Yamashita) 協創情報研究部 インタラクション対話研究グループ  
E-mail : yamashita.naomi(at)lab.ntt.co.jp